

単元の計画表

根拠の適切さを考えて書く 意見文を書く

組 号

単元の目標

この単元では、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えることで、自分の意見がより伝わる文章を書く力を伸ばす学習をします。
そのために、自分の関心のあるテーマについて賛成・反対の立場を示し、根拠の適切さを考えながら意見文を書きましょう。

時 日	1 月 日	2 月 日	3 月 日	4 月 日	5 月 日
◆本時の目標 ○学習活動	◆学習の見通しをもち、意見文のテーマを決めよう。 ①「中学生にスマートフォンは必要である」というテーマについて、賛成の立場で三百字程度の意見文を書く。 ②単元の目標や計画をつかみ、学習の見通しをもつ。 ③自分の意見が伝わる文章にするために、どのような工夫をするかよいかを考える。 ④社会生活の中からテーマを選ぶ。	◆自分の意見が伝わるように、根拠の適切さを考えよう。 ①前時に決めたテーマについて、どのような長所や短所があるのか整理し、分析する。 ②テーマについて、賛成・反対の立場を決め、その意見の根拠について考える。 ③同じテーマを選んだ友達同士で、自分の意見とその根拠について検討する。	◆自分の意見が伝わるように、根拠の適切さを考えながら、意見文の下書きを書く。 ①意見文の構成を考え、構成メモを作成する。 ②同じテーマを選んだ友達同士で、構成メモを見て、相互にアドバイスをを行い、構成メモを修正する。 ③構成メモを基に、意見文の下書きを書く。	◆読み手の立場になって、根拠の適切さを考えることにより、意見が伝わる文章になっているか確かめて、文章を整えよう。 ①同じテーマを選んだ友達同士で意見文の下書きを読み合い、根拠の適切さを考えることにより、意見が伝わる文章になっているかを確認して、相互にアドバイスを行う。 ②読み手からのアドバイスを基に、意見文を推敲して清書する。	◆自分の書いた意見文について振り返ろう。 ①違うテーマを選んだ友達同士で意見文を読み合い、根拠の適切さを考えることにより、意見が伝わる文章になっているかを確認して、相互にアドバイスを行う。 ②自分の書いた意見文を振り返る。 ③単元全体の学習を振り返る。
振り返り					※第5時の振り返りは、ワークシートに記入します。

単元全体の学習の振り返り
